

もっとうっとう推したい

学芸員こだわりの作品たち



Rediscovering the Curators' Favorites

2025.11.26 (水)

——> 2026.1.12 (月祝)

鳥取県立美術館 2階コレクションギャラリー1

休館日／12月1日〔月〕、8日〔月〕、15日〔月〕、22日〔月〕、年末年始（12月29日～1月3日）、1月8日〔木〕

開館時間／9:00～17:00（最終入館は16:30まで）

観覧料／一般400（20名以上の団体320）円、学生・70歳以上200円、高校生以下無料
（会場館コレクション展入館料）※未就学児、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等及びその介護者は無料

作品出品館／倉吉博物館、鳥取県立美術館、鳥取民藝美術館、日南町美術館、米子市美術館、渡辺美術館

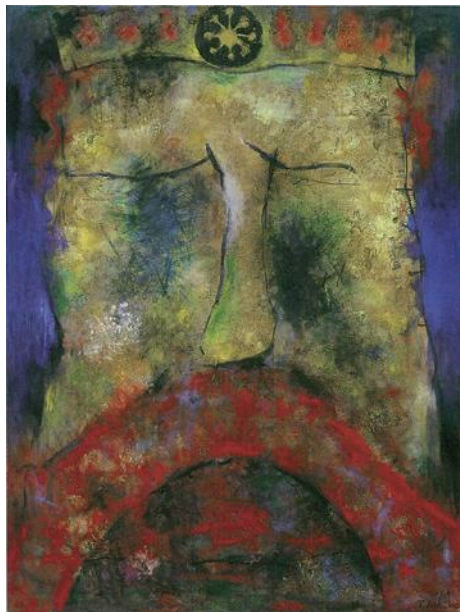
主催／鳥取県立美術館、鳥取県アートミュージアム連携協議会

問い合わせ先／鳥取県立美術館 〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 電話／0858-24-5441（学芸課）

各館の学芸員が、もっと知ってほしいと考える、この一点。

鳥取県アートミュージアム連携協議会は、鳥取県内のミュージアムのうち、美術専門の学芸員を配置し、美術に関する各種事業を運営している9つの館によって構成されています。これまで毎年、加盟館のコレクションをテーマ別に持ち寄るかたちで共同企画展を開催してきましたが、鳥取県立美術館が開館した本年度は、これまでの共同企画展では紹介できなかった作品や、もっと広く知ってもらいたいと思いつつ十分に紹介できていなかった作品などにあえてスポットを当て、鳥取県のアートに対する視野や理解がより一層深まることを目指して、題名のとおり「もっと推したい」と学芸員がこだわりをもって選んださまざまな分野の作品を紹介します。

Rediscovering the Curators' Favorites



1



2



3



5



6



4

関連イベント 加盟館学芸員によるギャラリートーク

11月30日[日] 14:00~14:30

12月20日[土] 15:00~15:30

会場：鳥取県立美術館コレクションギャラリー1 ※申込不要、要入館料

- 足羽俊夫《悲しみの王》
1964年/油彩・カンヴァス/日南町美術館蔵
 - 足立正太郎《手》
1933年/ゼラチン・シルバー・プリント/ヴィンテージ・プリント/米子市美術館蔵
 - 西東北南《普賢菩薩騎象像》
明治時代/木/渡辺美術館蔵
 - 古浦富焼《染付蝙蝠文》(右)
古浦富焼《染付花文湯呑》(左)
江戸後期/磁器/鳥取民藝美術館蔵
 - 武良俊明《船あげ》
1937-38年/油彩・カンヴァス/米子市美術館蔵
 - 亀田正一《夏泊港》
1985年/油彩・カンヴァス/鳥取県立美術館蔵
- 表 能勢竜太郎《アトリエ内》
1929年/油彩・カンヴァス/倉吉博物館蔵

交通アクセス

鉄道・バスの場合

倉吉駅まで

◎JR 倉吉駅よりバスで約 10 分、「県立美術館前」下車

- 鳥取砂丘コナシ空港からバスで約 45 分
- 米子鬼太郎空港から JR 特急等で約 1 時間 10 分
- 大阪駅から JR 特急で約 3 時間
- 岡山駅から JR 特急で約 2 時間 40 分

車の場合

※駐車場あり(110台)

- 岡山・広島方面：米子道湯原 IC から約 50 分
- 大阪方面：中国自動車道院庄 IC から約 1 時間



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 TEL 0858-24-5442(代表)

X @tottori_moa @tottori_moa_2025 @tottori_moa



公式WEBサイト

